

番外企画

番外企画①

ライターになりたいあなたへ

—ワンダーランド10年、記者20年—

日時 2013年5月25日(土)18:30-21:00

会場 東京芸術劇場 ミーティングルーム5

受講料 一般 1,000円(セミナー一括申込者は無料)

講師:北嶋孝(ワンダーランド代表)

番外企画②

岩井秀人が語る、岩井秀人と語る

日時 2013年7月6日(土)13:30-16:00

会場 東京芸術劇場 シンフォニクススペース

受講料 一般 2,000円(セミナー一括申込者は1,000円)

語る人:岩井秀人(ハイバイ主宰、劇作家・演出家)

聞き手・進行:水牛健太郎(ワンダーランド編集長)

番外企画③

藤田貴大が語る、藤田貴大と語る

日時 2013年9月7日(土)13:30-16:00

会場 東京芸術劇場 シンフォニクススペース

受講料 一般 2,000円(セミナー一括申込者は1000円)

語る人:藤田貴大(マームとジブシー主宰、劇作家・演出家)

聞き手・進行:水牛健太郎(ワンダーランド編集長)

劇評を書く セミナー

東京芸術劇場コースII



ワンダーランド(小劇場レビューマガジン)は、

「劇評を書くセミナー 東京芸術劇場コースII」を開きます。

東京芸術劇場の公演を見る。劇評を書く。

講師の助言を得て、参加者と話し合う。そして今期は、

旬の作家=作り手と話す場も企画しました。

東京芸術劇場の共催を得て、よりの公演に、

少数セミ形式でじっくり取り組みます。ご参加を

お待ちしております。聴講も可能です。

第1回

ハイバイ「て」(5月21日-6月2日)

合評 2013年6月15日(土)18:30-21:00

会場 東京芸術劇場 ミーティングルーム7

講師:佐々木敦(批評家)

第2回

城山羊の会「効率の優先」(6月7日-6月16日)

合評 2013年7月6日(土)18:30-21:00

会場 東京芸術劇場 ミーティングルーム7

講師:大岡淳(演出家、劇作家、批評家、パフォーマー)

第3回

Roots Vol.1「ストリッパー物語」

(7月10日-7月28日)

合評 2013年8月10日(土)18:30-21:00

会場 東京芸術劇場 ミーティングルーム7

講師:徳永京子(演劇ジャーナリスト)

第4回

マームとジブシー「cocoon」(8月5日-15日)

合評 2013年8月31日(土)18:30-21:00

会場 東京芸術劇場 ミーティングルーム7

講師:扇田昭彦(演劇評論家)

第5回

キリンバズウカ「ワガマチマチ(仮題)」

(9月19日-9月25日)

合評 2013年10月19日(土)18:30-21:00

会場 東京芸術劇場 ミーティングルーム7

講師:林あまり(歌人、演劇評論家)

- 主催 ワンダーランド(小劇場レビューマガジン)
- 共催 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

※公演日程などが変わる場合があります。詳細はワンダーランド
または東京芸術劇場のサイトをご覧ください。

【定員】

- ◆セミナー 20名(一括受講+個別回受講)
受講者は劇評・レビュー(1000字~4000字)を提出しますが、合評・聴講のみ参加も可能。(聴講をお申し込みください。)
- ◆番外企画
番外企画①「ライターになりたいあなたへ
ワンダーランド10年、記者20年」 20名
番外企画②「岩井秀人が語る、岩井秀人と語る」 90名
番外企画③「藤田貴大が語る、藤田貴大と語る」 90名

【受講料】*公演チケットは各自お求めください。

- ◆セミナー
一括(全5回+番外企画①無料+番外企画②③優待) 13,000円
個別(1回) 3,000円
聴講(1回) 2,000円
- ◆番外企画
番外企画① 1,000円(セミナー一括申込み者は無料)
番外企画②③ 2,000円(セミナー一括申込み者は1,000円)

【申し込み】

ワンダーランド特設申し込みサイトから
http://www.wonderlands.jp/

【締め切り】

一括受講:6月10日
個別受講は各回の前日(要予約)。
定員に達し次第募集を締め切ります。

【会場】

- ◆セミナー 東京芸術劇場 ミーティングルーム7
- ◆番外企画① 東京芸術劇場 ミーティングルーム5
- ◆番外企画②③ 東京芸術劇場 シンフォニースペース

【問い合わせ】

ワンダーランドセミナー係 (info@wonderlands.jp)
Tel/Fax:042-422-5219



マワンダーランドとは
小劇場レビューマガジンとして2004年創刊。これまでの寄稿者は約180人、掲載記事は1500本を超える。webサイトとメールマガジン版で発行。劇評サイトとして機能することももちろん、積み重ねたレビューは作品のアーカイブとしての役割を果たしている。

【チラシデザイン】谷杉精一

セミナー講師紹介(50音順)



大岡淳(演出家、劇作家、批評家、パフォーマー)

1970年兵庫県生まれ。SPAC-静岡県舞台芸術センター芸芸部スタッフ、ふじのくに芸術祭企画委員、はままつ演劇・人形劇フェスティバルコーディネーター、静岡文化芸術大学非常勤講師、河合塾COSMO東京校非常勤講師。最近の演出作品「江戸糸あやつり人形座「マダム・エトワルダール君と俺との唯物論」(ザムザ阿佐谷)



佐々木敦(批評家)

1964年生まれ。HEADZ主宰。BRAINZ塾長。「エクス・ポ」編集発行人。映画美学学校批評家養成ギブス主任講師。劇場創造アカデミー講師。早稲田大学文学学術院教授。文学、映画、音楽など幅広いジャンルで批評活動を行なっているが、このところ演劇への関心が深い。主な著書に「批評時空間」「未知との遭遇」「即興の解体/懐胎」「ニッポンの思想」など。



扇田昭彦(演劇評論家)

1940年東京都生まれ。朝日新聞学芸部記者、編集委員として演劇を担当した。長年の内外取材に裏付けられた現代演劇評論、劇評が多い。NHKテレビの演劇番組の司会も務めた。武蔵野美術大学造形学部特別講師。主な著書に「日本の現代演劇」「舞台は語る 一現代演劇とミュージカルの見方」「現代演劇の航海」「唐十郎の劇世界」「蛭川幸雄の劇世界」など。新著は「井上ひさしの劇世界」(国書刊行会)。



徳永京子(演劇ジャーナリスト)

1962年東京都生まれ。小劇場から大劇場まで幅広く足を運び、朝日新聞劇評のほか、「シアターガイド」「Choice!」などの雑誌、公演パンフレットを中心に原稿を執筆。東京芸術劇場運営委員および企画選考委員。2011年度のワンダーランド演劇セミナー「クロストーク150分 最前線の演劇知」のプロデューサーを務める。



林あまり(歌人、演劇評論家)

1963年東京都生まれ。大学在学中から短歌で注目された。演劇活動にも関心を寄せ、主に小劇場のレビューや評論を新聞、雑誌で手がける。NHKテレビの演劇番組の司会も。成蹊大・武蔵野大・多摩美術大非常勤講師。また作詞に坂本冬美のヒット曲「夜桜お七」などがある。歌集に「MARS☆ANGEL」「ベッドサイド」「スプーン」など。現在、「テアトロ」誌でリレー劇評を隔月連載中。

番外企画 出演者紹介(50音順)



撮影:松山泰三

岩井秀人(ハイバイ主宰、劇作家・演出家)

1974年、東京都小金井市生まれ。桐朋学園大学演劇科卒。2003年「ハイバイ」旗揚げ。代表作は「ヒッキー・カンクントルネード」「おねがい放課後」「て」など。映画、舞台出演など俳優としての活動も多数。2012年のパルコ・プロデューサー「ヒッキー・ソトニデテミターノ」など外部での作・演出も手がける。同年、NHKBSプレミアムドラマ「生むと生まれるそれからのこと」で向田邦子賞を受賞。2013年「ある女」で第57回岸田國土戯曲賞を受賞。



北嶋孝(ワンダーランド代表)

1944年秋田市生まれ。早稲田大学文学部卒。共同通信社文化部、経営企画室などを経てフリーに。編集・制作集団ノースアイランド舎代表。80年代後半から演劇、音楽コラムを雑誌に寄稿。TV番組のニュースコメンター、演劇番組ナビゲーターも。2004年創刊時からマガジン・ワンダーランド編集長を務め、2009年10月からワンダーランド編集発行人、代表。



撮影:船出浩一

藤田貴大(マームとジブシー主宰、劇作家・演出家)

1985年生まれ。北海道伊達市出身。桜美林大学文学部総合文化学科で演劇を専攻。2007年マームとジブシーを旗揚げ。2012年「かえりの合図、まった食卓、そこ、きつと、しおふる世界。」で第56回岸田國土戯曲賞を受賞。その他、いわき総合高校で生徒と発表した「ハロースクール、バイバイ」や、漫画家今日マチ子氏との共作漫画「mi-na-mo-no-gram」発表など活動は多岐に渡る。



水牛健太郎(ワンダーランド編集長)

1967年12月静岡県清水市(現静岡市)生まれ。高校卒業まで福井県で育つ。東京大学法学部卒業後、新聞社勤務、米留学(経済学修士号取得)を経て、2005年、村上春樹論が第48回群像新人文賞評論部門優秀作となり、文芸評論家としてデビュー。演劇評論は2007年から。